



～3・4歳児をお持ちのお父さん・お母さんのための～

「親学ノート」


【幼児期に大切な3つのポイント】

 親子で「おやくそく」を決めて、親子で守りましょう

↓
「おやくそく」が守れたら、お子さんを必ずほめてあげましょう。

 親子で絵本を楽しみましょう

↓
親と子が「読み聞かせ」を通し、コミュニケーションをはかりましょう。

 「自分でできる」をはぐくみましょう

↓
自分のことは自分でやりたがる時期です。やりたがる気持ちを大切に、自主性を養いましょう。

親子で「おやくそく」を決めて、親子で守りましょう

守れるようになったら、必ずほめてあげましょう。

「おやくそく」とは、家族の間や親子の間で決める約束のことです。お子さんにできることを「おやくそく」にし、まずはおうちの人がお手本を示しましょう。そして、お子さんができたらほめてあげましょう。ほめられることが、次もまた「おやくそく」を守る気持ちにつながります。そして、その気持ちが、家族の一員、また社会の一員としての自覚につながり、社会のルールやマナー、他者への思いやりも身についていきます。

「おやくそく」が守れなかったら、根気よく、お子さんが分かるようになるまで親子で取り組みましょう。

(こんなことからやってみましょう)

- あいさつ
(おはよう、おやすみなさい、いただきます、ありがとう、など)
- 交通ルール(外に出るときは手をつなぐ、など)
- 公共の場でのマナー
(レストランなどでは騒がない、いすには土足で上がらない、など)
- 「早寝・早起き・朝ごはん」



親子で絵本を楽しみましょう

遊びを通じた子どもとのコミュニケーション を大切にしましょう。



お子さんとただ一緒にいれば、触れ合いができてというわけではありません。テレビや携帯電話から離れて、「心」から、お子さんと向き合う時間を作りましょう。

目と目を合わせる、体と体を触れ合わせる、その積み重ねが愛情と信頼を生みます。絵本の「読み聞かせ」などの遊びを通じて、子どもと向かい合うことによって、親子の信頼関係ができてきます。親子の信頼関係は、その後の人間関係の出発点となるととても大切なものです。

(こんなことをして子どもと向き合ってみましょう)

- おんぶ、抱っこ、ボール遊び、手遊び
- 子どものおしゃべり



「自分でできる」をはぐくみましょう

自分のことは自分でできるよう、一緒にやりながら教えましょう。

多少時間がかかっても、上手にできなくても、自分のことは自分でやらせてみて、ほめてあげることが大切です。「自分でできる」という気持ちをはぐくむことが、新しいことにチャレンジしていく気持ちにつながります。

また、この時期は、個人差が大きくある時期です。その子のペースに合わせて、他の子と比べたりせず、できるまでのんびり待つことも大切です。



(こんなことからやらせてみましょう)

- 洗面、歯磨き、手洗い
- お箸
- お片づけ
- 着替え

